

柱Ⅳ 水産業の振興と資源の適切・有効活用

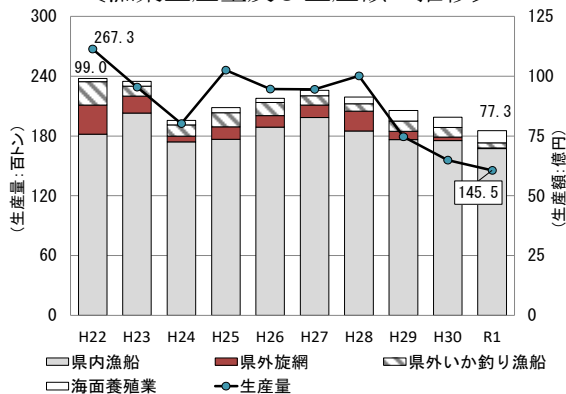
- 1 経営体質・販売力の強化
- 2 水産資源の適切・有効利用

現状と推進方向

【現状】

- 海面漁業は、一部魚種の資源水準の低迷や漁業者の減少から生産量、生産額は年々減少傾向にあります。また、漁獲物は市場への鮮魚出荷が主体で、生産現場での付加価値向上の取組が遅れています。
- 多くの漁業者は零細な個人経営体であるため、漁船等の設備更新が遅れるとともに高齢化が進んでおり、収益性も低下しております。
- 本県漁業の大宗を担う中核的漁業の一経営体あたりの生産額は増加しているものの、十分な所得を確保できる水準には至っていません。
- 漁業振興として造成を進めてきた藻場は、近年、温室効果ガスの吸収源として注目されています。
- 漁港施設は老朽化が進んでいるほか、大規模な地震に耐えうる岸壁などが未整備の拠点漁港があります。また、省力化、軽労化及び就労環境改善など、漁業生産性の維持・向上に向けたニーズがあります。
- 内水面では、漁業者や遊漁者が減少傾向にあり、河川の利用が低下しています。
- 錦鯉は、ヨーロッパやアメリカなど海外に広く輸出され、近年、アジア市場の拡大などにより、輸出額は増加傾向にありますが、海外での生産も始まっています。

〔漁業生産量及び生産額の推移〕



資料：農林水産省、水産課調査

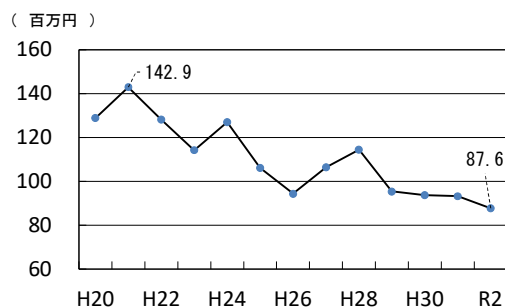
〔中核的漁業（注）生産額の推移〕

	H28	H29	H30	R1	R2
漁業生産額 (億円)	56.1	54.3	53.0	55.2	41.4
経営体数	318	308	306	296	281
1経営あたりの生産額 (万円)	1,765	1,763	1,732	1,865	1,474

注：中核的漁業：3トン以上の漁船で行う定置網、底びき網、イカ釣り、かご漁業

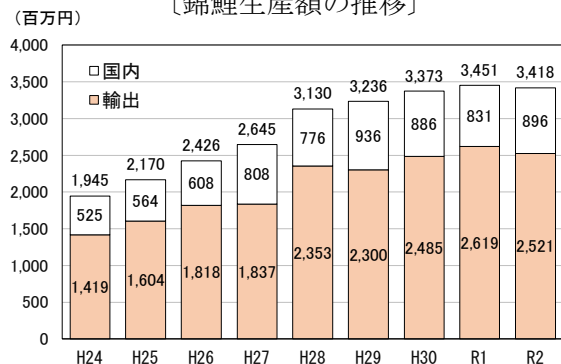
資料：水産課調査

〔河川における遊漁券販売金額の推移〕



資料：水産課調査

〔錦鯉生産額の推移〕



資料：水産課調査

【問題点と推進方向】

- 漁獲の数量管理を基本とする資源管理が進む中で、生産量を増加させることが困難なことから、水産物の付加価値を高め、漁業者所得の向上を図ります。
- 後継者の確保が十分できていないことから、設備更新を進め経営基盤の強化を図るとともに、地域ぐるみで担い手を育成する仕組みを構築します。

- 老朽化や耐震不足により、被災リスクが増大していることに加え、漁業生産性の低下を招いている施設があることから、漁港の防災、減災機能及び漁業生産性の維持・向上を促進します。
- 河川利用の低迷は、生態系の悪化や多面的機能の低下につながることから、河川利用人口の拡大を進めます。
- 錦鯉は、今後、産地間競争が懸念されることから、発祥の地の優位性を維持していくほか、魚病対策を徹底します。

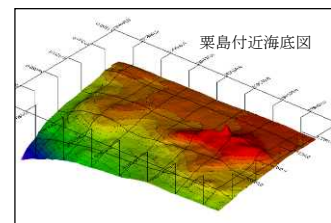
【具体的な取組】

1 水産資源の持続的利用

- 水産資源を持続的に利用するため、科学的知見に基づいた漁獲の数量管理を基本とする資源管理や、稚魚の育成場となる藻場造成と生態系保全の取組を推進します。

2 漁業経営体の体質強化と世代交代の促進

- 地域の実情に合わせた担い手対策や法人化等の経営基盤強化につながる取組を推進し、円滑な世代交代を図ります。
- 海底地形の可視化など、経験が浅い新規就業者でも効率的な操業ができるよう、ICT等の新たな技術を活用した操業支援システムを構築します。



栗島付近海底図
 <県調査船「越路丸」が「作成した3D海底図」>

3 関係者の連携強化による県産水産物の付加価値向上

- 生産、流通、加工、販売、観光等の各業界間の連携を強化し、生産情報や消費者ニーズなど互いの情報を共有、活用することで、多様な販売ルートの確保や付加価値向上の取組を推進します。
- 食育や情報発信を通じて、本県水産業に対する県民理解の醸成を図り、多様化する食習慣の中でも県産水産物の需要を喚起します。
- 観光との連携を図り、河川における遊漁や県産水産物などを観光資源として活用する取組を推進します。



<高品質なズワイガニの選別>

4 漁港施設の改良等による漁業生産性の維持・向上

- 防災・減災機能及び漁業生産性の維持・向上を目指し、漁港施設の保全や耐震化工事などを実施します。



<県の鑑賞魚 錦鯉>

5 県産錦鯉のブランド力の維持・強化

- 国内外での情報発信により、「錦鯉発祥の地・新潟」の認知度向上を図るほか、輸出拡大に向け県産錦鯉の安全性を確保するため、魚病対策を徹底します。

目標

指標名	現状 (令和2年)	目標 (令和6年)
中核的な漁業経営体1経営体当たりの生産額	1,474万円	2,100万円
県産錦鯉輸出額	25.2億円	30億円
遊漁券販売金額	8,764万円	増加させる